

CGFA 2022 フジパン CUP 第 46 回 中国 U-12 サッカー大会  
大会要項案

1. 趣旨 子どもたちが、サッカー競技を通して身体を鍛え、フェアプレーの精神を培い、正しく力強く生きることを願って開催する。
2. 主催 一般社団法人中国サッカー協会
3. 主管 一般社団法人中国サッカー協会第 4 種委員会・一般財団法人岡山県サッカー協会・  
一般財団法人岡山県サッカー協会第 4 種委員会
4. 協賛 フジパングループ
5. 後援 岡山県・美作市・美作市教育委員会・日刊スポーツ・広島ホームテレビ
6. 協力 瀬戸内海放送・山口朝日放送・山陰放送
7. 期日 2022 年 7 月 16 日(土)～7 月 18 日(月)  
7 月 16 日(土) 12:00～ 監督会議 (美作ラグビーサッカー場)  
12:00～ 選手集合 (美作ラグビーサッカー場)  
13:00～ 開会式 (美作ラグビーサッカー場)  
14:00～ Kick off (美作ラグビーサッカー場)  
17:45～ 第 4 試合終了予定  
7 月 17 日(日) 9:00～ Kick off (美作ラグビーサッカー場)  
15:00～ 第 3 試合 Kick off (美作ラグビーサッカー場)  
7 月 18 日(月) 9:00～ Kick off (美作ラグビーサッカー場)  
14:20～ 閉会式予定 (美作ラグビーサッカー場)
8. 会場 7 月 16 日(土)～7 月 18 日(月)  
岡山県美作ラグビーサッカー場(メイン, 第 1 天然芝)  
(岡山県美作市入田 436 番地 3 TEL 0868-72-2225)
9. 参加資格
  - (1) 「参加チーム」は、大会実施年度に(公財)日本サッカー協会第 4 種に加盟登録したチーム(以下「加盟チーム」)であること(準加盟チームを含む)。
  - (2) 上記「参加チーム」の構成は、単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続的に活動していること。
  - (3) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。
  - (4) 各県大会(地区大会を含む)から中国大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍

後、再び参加することはできない。

- (5) 「参加チーム」及び「参加選手」は、各県協会の推薦を受けたチームであること。当該チームの県大会への登録選手数が16名に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手から補充することができる。
- (6) 「参加選手」は、(公財)日本サッカー協会の発行した「加盟チーム」の選手証(写真貼付されたもの)を持参し(JFA キックオフシステムより出力した選手証・登録選手一覧表を印刷したもの、スマホ・PC画面表示も可とする。)選手資格確認を受けること。
- (7) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。  
また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上がJFA公認コーチ資格(D級コーチライセンス(サッカー)以上)を有し、ライセンス認定証を持参し、IDカードに入れ携帯すること。
- (8) 「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- (9) 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。

#### 10. 参加チーム及び構成

- (1) 中国5県より16チーム。(開催県岡山県は4チーム、他の県は3チーム。)
- (2) 「参加チーム」の構成は、選手16名以内、引率指導者2名以上3名以下とする。

#### 11. 大会形式

- (1) 16チームを同県が同グループにならないように考慮し4つのグループに分け、グループ毎に総当たりのグループリーグ戦を行う。
- (2) グループリーグにおける順位決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
  - ① 全試合の得失点差(総得点-総失点)
  - ② 全試合の総得点
  - ③ 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
  - ④ ①~③の全項目において同一の場合は、該当チームでのペナルティーキック方式により決する。
- (3) グループリーグにおける順位決定後、  
各グループ上位2チーム合計8チームによる決勝トーナメント戦を行う。  
下位の2チームはそれぞれフレンドリーマッチを行う。

#### 12. 競技規則 (公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

#### 13. 競技のフィールド

- (1) フィールドの表面は、天然芝・人工芝とする。
- (2) フィールドの長さ(タッチライン)は68m以下、幅(ゴールライン)は50m以下とする。
- (3) ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。

・ペナルティーエリア	12m
・ペナルティーマーク	8m
・ペナルティーアークの半径	7m

- ・ゴールエリア 4m
- ・センターサークルの半径 7m
- ・交代ゾーン 自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける。(ハーフウェーラインを挟んで3mずつ)

14. 試合球 sfida 4号球 (フジパン 100周年記念球) を使用する。

#### 15. 競技者の数および交代

- (1) 1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。  
(8人に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により8名に満たなくなった場合には、そのまま続行する。一方のチームが8名に満たない場合、両チーム同数とする。6名に満たない場合は当該試合を中止する。)
- (2) 登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- (3) ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- (4) 試合は常に8人対8人で行うこととする。怪我等でピッチ外に出る場合は、必ず補充してから試合を始める。試合中に怪我等により交代要員がいなくなり8名に満たなくなった場合は、そのまま続行する。
- (5) 交代の手続き  
交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。  
交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。  
交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。  
(注)ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れもよい。交代について、主審、補助審判の承認を得る必要はない。

#### 16. 競技者の用具

##### (1) 競技者の用具・ユニフォーム

- ①(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
- ②本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ・ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
- ③正・副の2色については明確に異なる色とする。
- ④審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ⑤前項の場合、審判員は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- ⑥ユニフォームのデザイン、ロゴが異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- ⑦ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

- ⑧アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑨アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑩Jクラブアカデミーのチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号⑮に準じる。
- ⑪ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書に記載し、各試合に必ず携帯すること(FP・GK用共)。本協会に登録されたものを原則とする。
- ⑫シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- ⑬選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑭ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- ⑮ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、2022年6月23日(木)までに本協会に承認された場合にのみ認められる。

※本協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に所属するクラブの下部組織のチームは、当該クラブのトップチームと同一のユニフォーム広告を掲示することが認められる。但し、アルコール等、未成年チームにふさわしくない広告については除外する。

## 17. テクニカルエリア

- (1) テクニカルエリア(ベンチ)に入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者2名以上3名以下とする。ベンチ入りするチーム役員の内1名以上がJFA公認コーチ資格(D級コーチライセンス(サッカー)以上)を有し、IDカードに入れ携帯すること。
- (2) その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

## 18. 審判員

グループリーグおよびフレンドリーマッチについては1人の主審と補助審判が指名される。決勝トーナメントについては1人の主審と2人の副審と第4の審判員が指名される。

## 19. 試合時間

- (1) 予選リーグ・準々決勝戦・準決勝戦・3位決定戦・優勝戦の試合時間は前・後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は10分とする。他の試合時間は、前・後半とも15分とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。
- (2) 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合  
グループリーグ、フレンドリーマッチ;引き分けとする。  
決勝トーナメント戦(準決勝戦まで);ペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。  
決勝トーナメント戦(決勝戦のみ);10分間(前後半各5分)の延長戦を行い(再延長は行わない)

なお決しない場合は、ペナルティーキック方式により勝利チームを決定する。

延長戦に入る前のインターバル;原則 5 分間

ペナルティーキックに入る前のインターバル;原則 1分間

- (3) 暑熱下において、前・後半中程に飲水タイム及びクーリングブレイクを採用する。

その他、暑熱対策については、JFA 暑熱対策ガイドラインに従う。

- (4) 試合の勝者を決定する方法

・ペナルティーキック方式において、両チーム 3 人ずつの競技者がキックを行ったのち、両チームの得点と同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで交互に順序を変えることなくキックは続けられる。

・ペナルティーマークからのキックの進行中に、ゴールキーパーが負傷してゴールキーパーとしてのプレーが続けられなくなったとき、氏名を届けられている交代要員と交代することができる。

・上記の例外を除いて、延長戦のある場合はそれを含めて、試合終了時にフィールドにいた競技者にのみペナルティーマークからのキックを行う資格が与えられる。

・資格のある競技者は、ペナルティーマークからのキックの進行中に、いつでもゴールキーパーと入れ替わることができる。その時のユニフォームはそのままよい。

・試合が終了し、ペナルティーキック方式を行う前に、一方のチームの競技者が相手チームより多い場合、競技者のより多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らさなければならない。

チームの主将は、除外するそれぞれの競技者の氏名と、背番号を主審に通知しなければならない。

これによって、除外された競技者は、ペナルティーキック方式に参加することはできない。

## 20. 警告・退場

- (1) 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとする間は、試合を停止する。

- (2) 本大会において退場を命じられた競技者は、本大会の次の 1 試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。

- (3) 本大会の異なる試合において警告を 2 回受けた競技者は、本大会の次の 1 試合に出場できない。

- (4) 本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は、(一社)中国サッカー協会第 4 種委員長が務める。委員については、委員長が決定する。

## 21. 参加申込

- (1) 参加チームは、別紙登録用紙に必要事項を記入の上、所属県協会第 4 種委員長を通じて 6 月 23 日(木)必着で処理を行うこと。

《登録先》〒730-8552 広島県広島市中区白島北町 19-2

広島ホームテレビ事業部内

「フジパンカップ 中国サッカー大会」係

TEL:082-221-7116 FAX:082-221-4904

- (2) 登録後の選手変更は原則として認めない。傷病傷害を理由とする参加選手の変更は認めることとし、大会当日の監督会議までに、(一社)中国サッカー協会第4種委員長まで、医師が発行する診断書を添えて申請すること。

22. 参加料 参加料として 10,000 円を 6 月 23 日までに必ず次の口座に振り込むこと。

振込先口座 ゆうちょ銀行 普通預金

口座番号 5168813

口座氏名 (イッシャ)チュウゴクサッカーキョウカイ

代表理事 古田篤良

店名・店番号 五一八 518

※ 振込手数料につきましては、振込側にてご負担いただきますようお願いいたします。

23. 組合せ 参加申込終了後、事務局において決定する。

24. 表彰

- (1) 優勝、準優勝、3位のチームを表彰する。  
(2) その他、(一社)中国サッカー協会第4種委員会が別途定める規程に基づき、表彰を行うことができる。

25. 大会の中止について

以下の場合、大会前、大会中にかかわらず中止になる可能性がある。

- (1) 政府から、全国または岡山県に緊急事態宣言が発出された場合  
(2) 岡山県知事から、イベント(大会)自粛要請、その他大会中止に関わる要請がでた場合  
(3) 選手等のウイルス感染等による活動制限が発生した場合等

※すべての最終判断は、中国サッカー協会・岡山県サッカー協会・保健所・岡山県、関係各所と相談の上、安全第一を基本に大会本部が決定する。

26. その他

- (1) 本大会の実施に関して、本大会要項に定めのない事項については、(一社)中国サッカー協会第4種委員会が最終的に決定するものとする。  
(2) 協賛社から参加チームへの提供物品については、主催者の指示に従うこと。  
(3) 開会式における選手宣誓は、主管県第1代表「岡山県」主将により行うこととする。  
(4) 帯同審判員(JFA 公認3級審判員以上)を必ず登録すること。  
(5) 参加チームは、「開会式」および「閉会式」に必ず参加すること。  
(6) 選手は必ず「選手証」(JFA キックオフシステムより出力した選手証・登録選手一覧表を印刷したもの、スマホ・PC 画面表示も可とする。)を持参し、確認を受けること。  
(7) 指導者はライセンス認定証(各チーム1名以上)を持参し、確認を受けること。  
(8) 前年度優勝岡山県第1代表は優勝カップおよびフジパン CUP と、前年度準優勝広島県第1代表は、準優勝楯を預かり持参し、開会式にて返還すること。ただし、該当チームが参加の場合はそのチームが行うこと。

- (9) 移動は各チームで対応すること。
- (10) チーム控え場所については、大会運営側で設置する。敷物については各チームで対応すること。
- (11) チーム応援幕の掲出については、各会場の掲出ルールに従うこと。
- (12) 弁当については大会事務局で対応するので、登録の際に別紙にて申し込むこと。

**【大会期間中の緊急時間問い合わせ先】**

第1 問い合わせ先 大会運営責任者

一般財団法人 岡山県サッカー協会第4種委員長 川村 将文

携帯:090-3170-9572

第2 問い合わせ先 事業統括

一般社団法人 中国サッカー協会第4種委員長 堀江 博生

携帯:090-2802-3554